

2026年3月26日(木) 18:00

KLab、ビットコイン及びゴールドの世界の マーケットコンセンサス・レポート3月号を発刊

~BTC、1年先のコンセンサス価格は「148,500ドル」、現在は絶好の押し目~
~ 金価格、年後半には\$5,000~\$6,000への回帰がベースケース ~

KLab株式会社
(コード番号: 3656 東証プライム)

KLab株式会社(本社: 東京都港区、代表取締役社長: 真田哲弥)は、ビットコイン及びゴールドに関するアナリストレポートを、AIを用いて世界中から収集・精査・分析した「KLab with AI BTCレポート」、「KLab with AI GOLDレポート」を不定期に発刊してまいります。本日、2026年3月号(BTC第4号、Gold第3号)を発行しましたのでお知らせします。



URL: https://www.klab.com/klabgames/strategy/KLab_AI_BTC_2026Mar.pdf

KLab with AI GOLDレポート

URL:

https://www.klab.com/klabgames/strategy/KLab_AI_Gold_2026Mar.pdf

ビットコインのマーケットコンセンサス「KLab with AI BTC レポート」について

ビットコインの取扱高の増加に伴い金融機関および調査機関が発表するレポートの数が増えています。日本語で閲覧できるレポートはほんの一部でしかありません。

当社は、AI技術を活用し、Fidelity Digital Assets、J.P. Morgan、Standard Chartered、Galaxy Research、Grayscaleといった世界の主要な金融機関および調査機関が2025年末にかけて発表した最新のレポート、および著名なマクロストラジストの分析を網羅的に収集・精査し、その論拠と予測を体系化し、マーケットコンセンサスの策定を目指したレポートを作成しました。

2026年3月ビットコイン市場展望: 1年先のコンセンサス価格は 「148,500ドル」、現在は絶好の押し目

以下「[KLab with AI BTCレポート](#)」より抜粋

結論: 現在のビットコインは「押し目買い(BUY)」が基本戦略

1年先のコンセンサス目標価格が「約148,500ドル」であることを踏まえると、現在の68,000ドル～71,000ドルという価格水準は、長期的には依然として**「割安であり、買うべき(BUY)」**水準であると断言できます。

チャート上の最大の障壁である72,000ドルを、大きな取引量(ボリューム)を伴って突破した場合、それは市場の空気が完全に上向きに変わった「買いシグナル」です²¹。売り圧力が消滅し、10万ドル台に向けた新たな上昇トレンドが開始される可能性が高いため、ためらわずに買い(トレンドに乗る順張り)を入れる局面です。

詳しくは、レポートをご覧ください。

2026年3月金市場展望: 金価格、年後半には\$5,000から\$6,000への回 帰がベースケース

以下「[KLab with AI GOLDレポート](#)」より抜粋

中長期的な見通し: 世界のトップ金融機関は、2026年後半から2027年にかけて5,000～6,000ドルへの回帰をメインシナリオとしています。中央銀行の金購入、機関投資家の資産配分見直し、そして政府債務の膨張という構造的な追い風は、短期の金利・ドル高の逆風をいずれ上回ると見られています。

詳しくは、レポートをご覧ください。

「デュアル・ゴールド・トレジャリー戦略」について

スライド

https://www.klab.com/klabgames/strategy/DualGoldTreasury_slide.pdf

ホワイトペーパー

<https://www.klab.com/klabgames/strategy/DualGoldTreasury.pdf>

KLab(クラブ)株式会社

社名: KLab株式会社(英文名: KLab Inc)代表

者: 代表取締役社長 真田哲弥

設立: 2000年8月1日

資本金: 86億1396万円(2025年12月末現在)

株式公開: 東京証券取引所・プライム(3656)

本社所在地: 〒106-6128 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

事業内容: モバイルオンラインゲームの企画・開発・運用、GPUサーバーの調達・販売・運用・保守、総合AIエンタテインメント事業

URL: <https://www.klab.com/jp>

《本件に関するお問い合わせ先》

KLab株式会社(クラブ株式会社) 広報

E-MAIL: pr@klab.com